

オオタバコガ情報第3号（野菜類、花き類、ダイズ）

令和8年10月5日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

フェロモントラップの誘殺数が10地点中6地点で多い～やや多い！ 今後のほ場での発生に注意してください

本虫については、7月3日付けで令和8年度病虫害発生予察注意報第4号を発表しましたが、フェロモントラップにおける誘殺数が複数地点で多い～やや多い状況のため、引き続き注意が必要です。

1 ほ場における発生状況

9月下旬のキャベツほ場（10地点20ほ場）で行った巡回調査の結果、本虫の寄生株率は0.15%（平年0.72%、前年0.10%）で平年並の状況です。

2 フェロモントラップにおける誘殺状況

県内10地点に設置したフェロモントラップのうち、6地点で直近1か月の総誘殺数が多い～やや多い状況です（図）。

- ・南知多町（キャベツほ場）では414頭（平年136頭、前年58頭）と過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・田原市（キャベツほ場）では401頭（平年239頭、前年247頭）と過去10年間と比較して**2番目に多い**。
- ・豊橋市（キャベツほ場）では324頭（平年284頭、前年431頭）と過去10年間と比較して**3番目に多い**。
- ・西尾市（ダイズほ場）では486頭（平年298頭、前年442頭）と過去10年間と比較して**最も多い**。
- ・稲沢市（キクほ場）では267頭（平年169頭、前年314頭）と過去10年間と比較して**3番目に多い**。
- ・長久手市（農総試内）では14頭（平年10頭、前年46頭）と過去10年間と比較して**3番目に多い**。

3 今後の予測

10月1日名古屋地方気象台発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれています。本虫の増殖に適する天候が予想されるため、**ほ場における発生が増加する可能性**があります。

4 被害と防除対策

- （1）茎、花蕾、果実及び**キャベツ等の結球部**に食入した幼虫や、発育が進んだ幼虫には薬剤の効果が著しく低下するため、若齢幼虫のうちに薬剤防除しましょう。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp/>)

- （2）キクでは着蕾後に被害を受けると商品価値が著しく低下するため、**着蕾以降は特に注意しましょう。**

- (3) ダイズにおける本虫による被害は、ハスモンヨトウのように幼虫が集団で葉を食害せず白変葉にならないため、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難です。また、直接、莢を加害することから、被害が大きくなります。
- (4) 被害部位の残渣は、卵や幼虫が付着している可能性があるため、放置せず適切に処分しましょう。
- (5) 施設栽培では、開口部に防虫ネットを張り成虫の侵入を防ぎましょう。

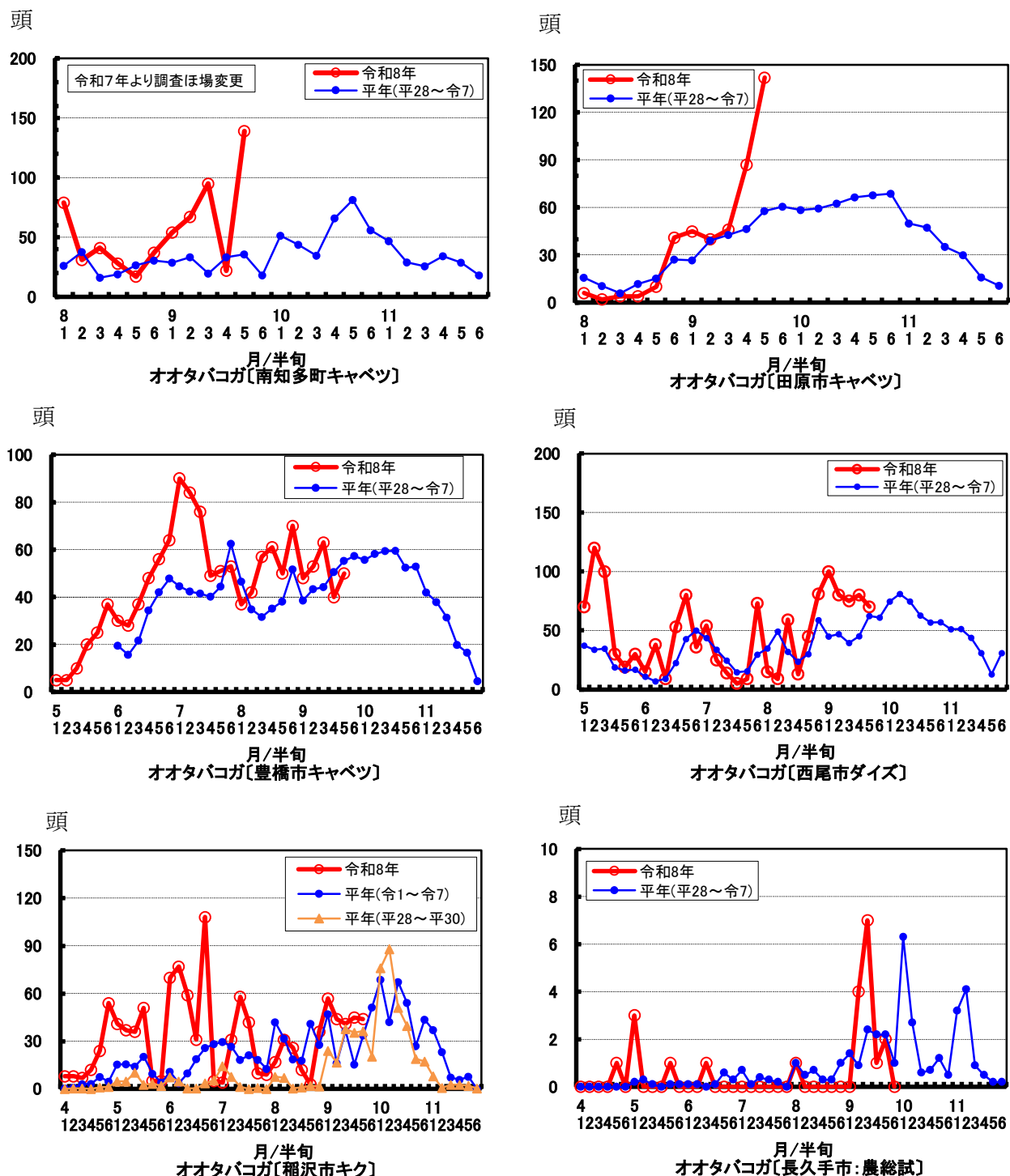


図 フェロモントラップにおけるオオタバコガ成虫の誘殺状況